

# 医療機器開発のための保険申請プロセス と事例を含めた戦略策定のポイント

1名分料金で  
2人目無料

セミナーURL <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250697>

◆日時: 2025年06月24日(火)13:00~16:00

◆会場: 江東区産業会館 第2会議室

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: GEヘルスケア・ジャパン(株) 政策推進本部 本部長 博士(生命医科学) 大竹 正規 氏

医療機器開発の目的は市場に展開して医療に貢献することであり、そのためにはビジネスとして成立することが必要不可欠である。ビジネスとして成立させるためには基本的には診療報酬の戦略を適切に立てている必要がある。

一方、日本の社会保障費は膨らみ続け国家予算の約三割となっている。医療機器の技術が良いだけで青天井に診療報酬が得られるものではない。したがって診療報酬下で使用される医療機器の開発にあたっては、何に着目し、どのように進めるべきかを理解した上で、開発の戦略を立てそれを実行する必要がある。

本講演では、診療報酬の基本的な仕組みと現況、検討すべきポイント、加えて、最近のトレンド等について紹介する。

### 1. 医療機器の診療報酬の仕組みの基本

- 1.1. 診療報酬とは
- 1.2. 診療報酬の概要、関連組織
- 1.3. 診療報酬獲得までのルート
- 1.4. 医療技術評価提案書と保険適用希望書
- 1.5. 診療報酬の改定
- 1.6. 技術料、材料価格の基本
- 1.7. 医療機器の保険適用上の区分

### 2. 診療報酬下での医療機器開発の検討すべき視点

- 2.1. 令和6年度診療報酬改定内容の概要
- 2.2. 令和6年度診療報酬改定内容の検討情報
- 2.3. 現在までの診療報酬改定のトレンドとその方向性

### 2.4. 診療報酬と薬事

- 2.5. 医療機器開発における診療報酬の捉え方
- 2.6. 保険適用のポイント
- 2.7. 保険適用の事例
- 2.8. 保険適用の現実と必要事項

### 3. 最近の診療報酬の動向

- 3.1. 令和8年度診療報酬改定に向けての検討
- 3.2. プログラム医療機器の保険適用の特徴
- 3.3. プログラム医療機器の保険適用の最近の動向
- 3.4. 保険外併用療養費制度とは
- 3.5. 保険外併用療養費制度の事例

### 4. まとめ

- 4.1. 今後の診療報酬
- 4.2. 医療機器ビジネスにおける診療報酬

## 『医療機器保険』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール  郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>